

モデル事業の分類

- 今年度は全54団体が採択され、全国各地で空き家に利活用に関する取組が実施された。
- 取組の内容を大きく分類すると、空き家を地方創生の実現のために活用する取組、所有者の空き家に対する意識改革や利用者への情報発信に関する取組、空き家の新たな需要を創出する取組、地域の空き家利活用を行う人材の育成・協力体制を確立する取組の4つに分類できる。
- それぞれの分類ごとの団体数は以下の通り。

No	分類	取組例	主な事業の投入先	団体数
(1)	空き家の利活用を通じた 地方創生の実現	<ul style="list-style-type: none">・ チャレンジショップ・ 空き家・空き店舗紹介ツアー・ マルシェ開催	<ul style="list-style-type: none">・ 所有者・ 利用者	6団体
(2)	空き家の利活用に関する 利用者への情報発信・所有者の意識改革	<ul style="list-style-type: none">・ セミナー、シンポジウム・ 空き家を活用した公開イベント・ 相談会・ パンフ、HP等作成・啓発	<ul style="list-style-type: none">・ 所有者・ 利用者	23団体
(3)	空き家の利活用に向けた 新たな需要・利活用用途の創出	<ul style="list-style-type: none">・ 利活用モデル実証・イベント・ 利活用モデル検討・構築・ マニュアル、リーフレット等作成・啓発	<ul style="list-style-type: none">・ 所有者・ 事業者・ 利用者	12団体
(4)	空き家の利活用に向けた 地域の人材育成・事業実施体制の確立	<ul style="list-style-type: none">・ 研修会、セミナー・ 意見交換会・ 自治体との協定締結・ 空き家バンク運用支援	<ul style="list-style-type: none">・ 事業者	13団体
				計54団体